

能代産廃センター北側地下水汚染状況調査結果について

平成26年6月

秋田県環境整備課

1 目的

能代産廃センターの周辺の1,4-ジオキサン等による汚染に対し、より効果的な対策を実施するため、ボーリング調査等を行い、1,4-ジオキサン等の汚染の範囲、原因及び程度を把握する。

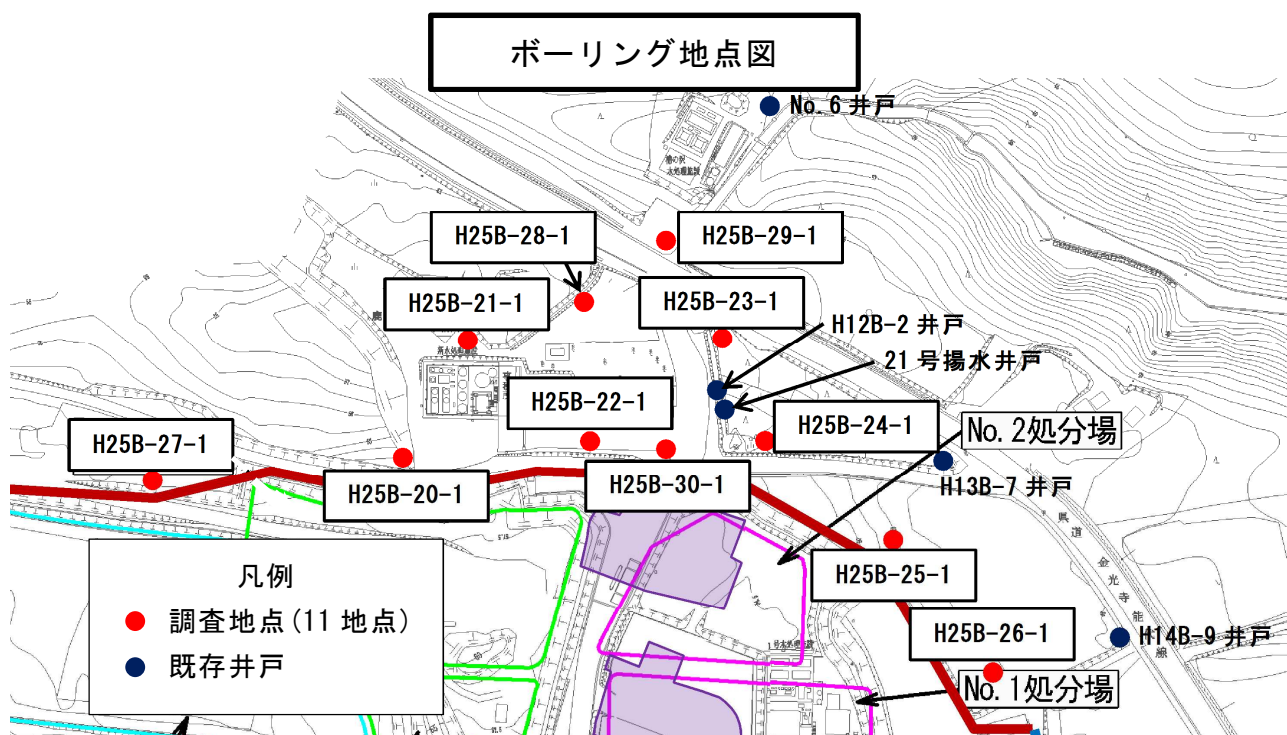
2 調査期間（ボーリング実施期間）

平成25年9月25日～平成26年2月4日

3 調査地点

処分場北側の鉛直遮水壁外において、既存井戸との位置関係を考慮して11地点を選定し、第1帯水層についてボーリング調査を実施した。

なお、ボーリング孔は、全て観測井戸仕上げとしている。



4 調査結果

調査地点及び既存井戸（第1帯水層井戸及び第2帯水層井戸）のデータを基に解析を行ったところ、次のような知見が得られた。

(1) 地下水の流向について

① 第1帯水層の地下水流向

ア. 遮水壁内：概ね旧国有地へ向かっていると推定される。

イ. 遮水壁外：北側及び東側においては蒲の沢へ向かっていると推定される。

ウ. 遮水壁内・外の水位差：北側では、遮水壁内部の地下水位が外側の地下水位に対して、4 m程度高くなっている。

② 第2帯水層の地下水流向

西側から北東側に向かっているが、水位差は小さく、第1帯水層と比べて流れは緩やかであると推定される。

(2) 地下水の汚染状況について

① 第1帯水層

ア. 遮水壁内：北側に比較的高い濃度の地点が存在している。

イ. 遮水壁外：北側にスポット的に高い濃度の地点が存在している。

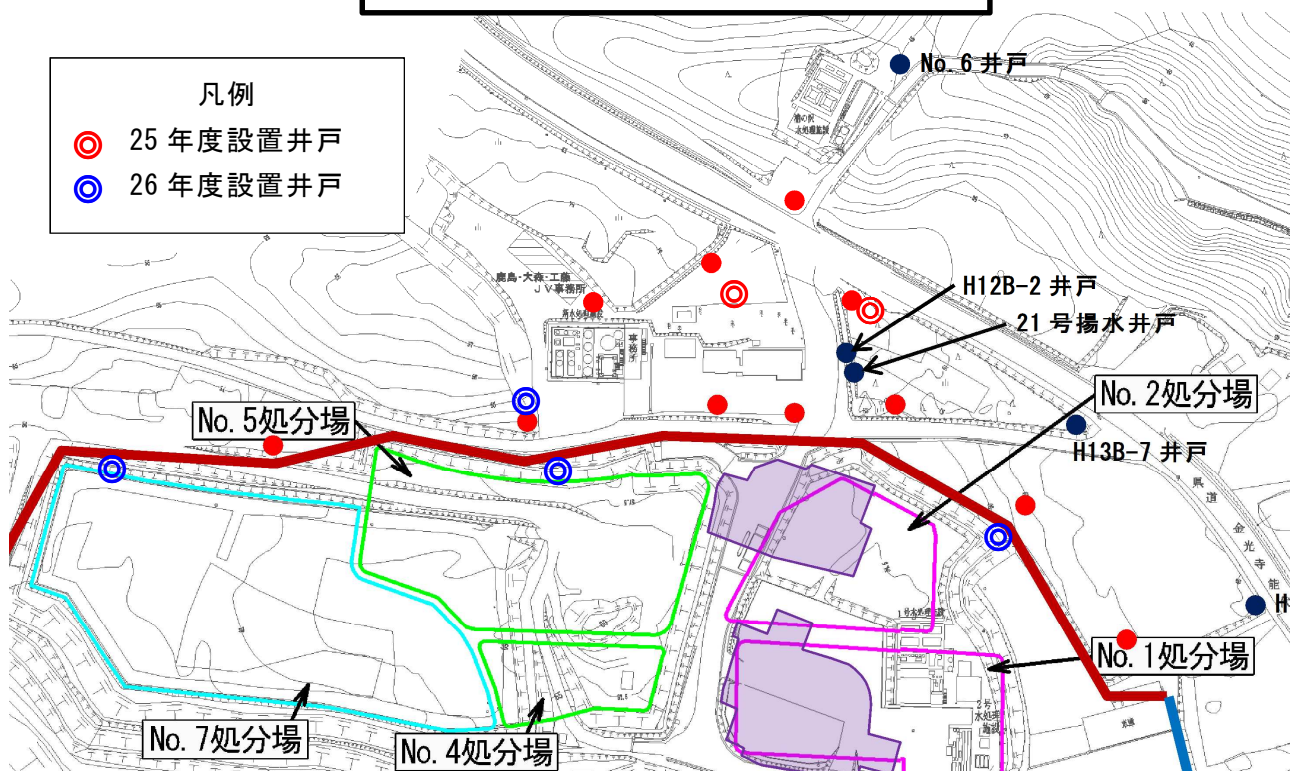
② 第2帯水層

北東側が1,4-ジオキサン、ベンゼンともに濃度が高い傾向にある。

5 対応

- これらの調査結果を踏まえ、遮水壁外の第1帯水層については、25年度には揚水井戸を2基設置したほか、26年度にも1基設置することにより、1,4-ジオキサン等の濃度が高い地下水を汲み上げることとしている。
- また、遮水壁内の地下水位を低下させるため、26年度に揚水井戸を3基設置することとしている。

第1帯水層揚水井戸設置地点図



- 第2帯水層については、産廃特措法の実施計画に基づき、25年度には揚水井戸を4基設置したほか、26年度には2基設置することとしている。